

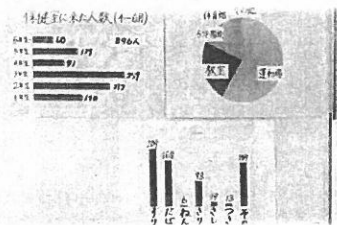
1 研究主題

主体的に学習し、思考し、確かな学力をもつ児童を育てる

2 研究の具体

視点1【主体的な学びを目指した単元及び授業展開の工夫】

《「つかむ→つかう→くらべる→つなぐ→かえる」の要素を意識した授業づくり》



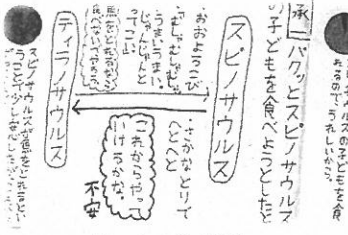
“つかむ”段階

課題意識をもたせる身近な資料の提示



“くらべる”段階

学び方を活用して自力解決



“かえる”段階

単元での学びを生かして作成した表現物

視点2【思考を広げたり深めたりするための学び合いの工夫】

《自ら「学び合いたい」「学び合ってよかった」と思える場の設定》



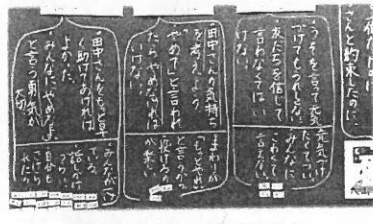
“媒介物の活用”

小黒板を使って考えを述べ合う



“学び合う必要感”

伝えたい・聞きたいと思わせるしかけ



“目的や視点の明確化”

名前磁石で互いの立場を示す

視点3【学び合いを支える学習基盤の確立】

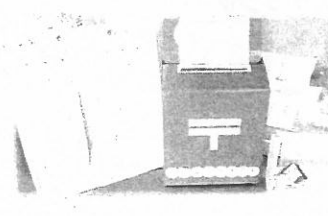
《基本的な学習規律の定着》



“板書構造”

めあてやまとめの書き方を統一

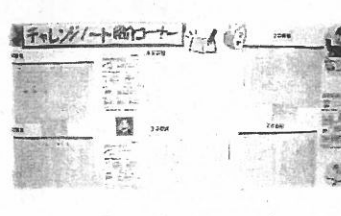
《読書活動の推進》



“リクエストボックス”

子どもたちの読みたい本を図書室に

《家庭学習の習慣化》



“自主学习ノート”

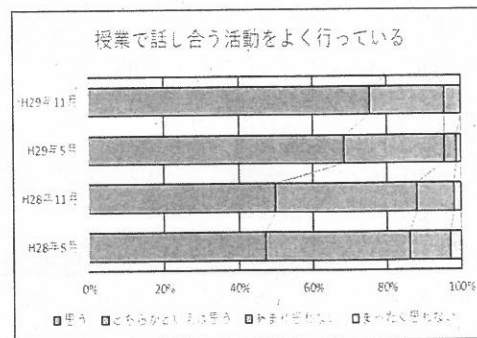
毎日進んで学習に取り組める子

3 研究の検証及び改善の手立て

○学習課題の解決に向けて、視点を明確化させた話し合い活動を意識して設定した。話し合う機会が増えたと回答している児童も増えてきている。多様な見方や考え方に触れ、違いの中から学ぶ姿が見られた。

○どのように学べばよいのかという「学び方」を理解することで、自ら課題に取り組もうとする意欲が高まった。

●児童が自ら学びたいという意欲をもち、より主体的に学習に向かえるための支援の在り方を研究していく。



研究主題：主体的な学びを育てる わかる授業の創造
～ 思考力・判断力・表現力を育む活動型授業を通して ～

◆本校の課題

- 家庭環境等に課題を抱える生徒の増加
- 学力・学習状況調査から全体的な学力の低下
- 基礎学力が十分でない生徒、学習成績の二極化

県質問紙調査、生徒の学習に対する一般的な質問では、県平均とほぼ同レベルにあるにも関わらず、活動型授業に関わる話し合い活動など、特定の質問では軒並みマイナス

◆研究仮説

活動型授業に取り組み、基礎・基本の定着を図れば、思考力・判断力・表現力の育成が図られるのではないかと。

◆取組の視点

- 「計算力」又は「書く力」の指導
- 基礎・基本の定着を図る土曜朝塾やマイ・スタディプラス
- 活動し考える場面や、活動し表現する場面を設定した活動型の授業の実践
- 単元・題材レベルでの思考力・判断力・表現力の育成をめざした単元構成・指導計画のデザイン
- 「さぬきの授業 基礎・基本」やUDの視点を参考にスキルアップ

◆活動型の授業：話し合い活動を中心に

国語科

創作した短歌を語順や表現で相互評価

話し合い活動の常態化によって、授業後の「楽しい」という生徒の声

理科

視点を明確に設定した実験の分析

単元の導入のための実験、後続の実験にも活気

英語科

ペア・グループによるコミュニケーション活動
○単元に関わる内容のQ&A
○ペアでのやり取りを文字に書き起こす振り返り

間違いを恐れずに表現活動が定着

音楽科

話し合い活動によって生徒の意見をつなぐ

楽譜の中から、楽譜に登場する動機を見つけ、楽曲の構造を探る

社会科公民

交通事故防止の対策と病院建設で選挙に見立てた意見討論

普段発表しない生徒が発表できる授業

◆検証及び改善の手立て

まずは、県学習状況調査で検証する。

本校の授業改善は始まったばかりであり、次年度も継続研究の予定。教員の意識改革・研究推進に向け、現職教育をさらに充実させ、教員の授業力向上を図りたい。

10の指標の一つ、「あなたは、自ら学ぶ姿勢をもって学習に取り組んでいるか」の調査結果。大きな変動はないが、これからとらえ、一層の推進へ。

